

Accessories Assembly For Column Speakers

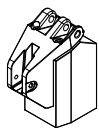
USER GUIDE



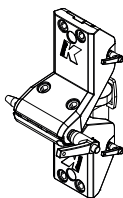
•20241225•

Applies to Kobra-KK, Python-KP, Kayman-KY line array loudspeakers

K-FOOT3



K-JOINT3



K-KJUNCT1



K-KBASEFL



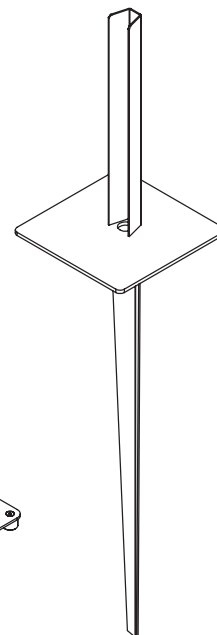
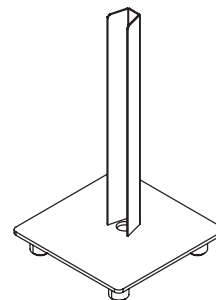
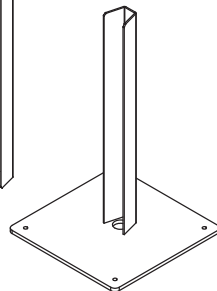
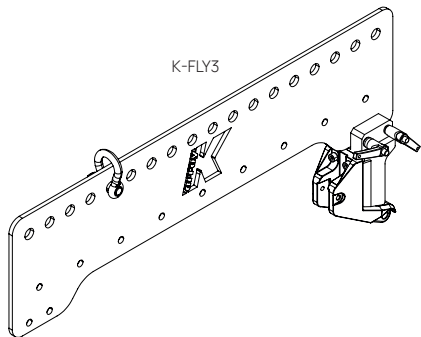
K-KBASEFT



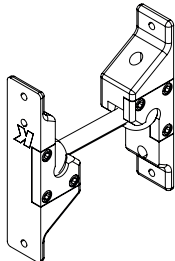
K-KBASETK



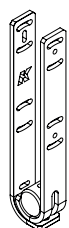
K-FLY3



K-WALL2



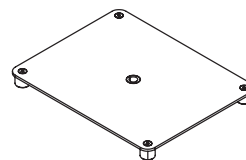
K-WALL2L



K-PMOUNT



K-KBASE3



K-ARRAY
Unique Audio Solutions

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK
DO NOT OPEN

ATTENTION: RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE NE PAS OUVRIR

**CAUTION: TO REDUCE THE RISK OF ELECTRIC SHOCK,
DO NOT REMOVE COVER (OR BACK).
NO USER-SERVICEABLE PARTS INSIDE.
REFER SERVICING TO QUALIFIED SERVICE PERSONNEL.**

**要注意：感電防止のため、開けないでください。
またカバー（もしくはバック部分）を外さないでください。
内部にユーザーによる修理が可能な部分はありません。
有資格のサービス担当者に修理を依頼すること。**



この記号は、製品の使用と保守に関する推奨事項の存在を警告するものです。



正三角形内の矢印付き点滅記号は、感電の危険性がある絶縁されていない危険な電圧が製品筐体内に存在することを警告するためのものです。



正三角形内の感嘆符は、本ガイドに重要な操作およびメンテナンス（整備）の指示があることを警告するためのものです。



取扱説明書
この記号は、操作説明書に関連する取扱説明書を示し、この記号のある場所の近くで装置または制御装置を操作する場合は、操作説明書を考慮する必要があることを示しています。



屋内専用
この電気機器は、主に屋内用に設計されています。



WEEE
本製品は、使用期間が終了したら、お近くの回収場所またはリサイクルセンターまでお持ちください。



このデバイスは、有害物質制限指令に準拠しています。

警告

これらの安全に関する指示に従わない場合、火災、感電、その他の人身事故、装置またはその他の物的損害が発生する恐れがあります。

一般的な注意と警告

- この説明書をお読みください。
- この説明書を保管してください。
- すべての警告に注意してください。
- すべての指示に従ってください。
- 本機を水の近くで使用しないでください。
- お手入れは乾いた布のみで行ってください。
- 換気口をふさがないこと。製造元の指示に従って設置してください。
- ラジエーター、暖房器具、ストーブなど、熱を発する器具（アンプを含む）の近くには設置しないこと。
- 極性プラグやアースプラグの安全上の目的を破らないこと。極性プラグには2つのブレードがあり、一方が他方より幅広くなっています。接地プラグには2つのブレードと3つ目の接地ブロングがあります。幅の広いブレードや3番目の突起は、安全のために設けられています。付属のプラグがコンセントに適合しない場合は、電気技術者に相談し、旧式のコンセントを交換してください。
- メーカー指定のアタッチメント/アクセサリのみを使用してください。
- 電源コードは、特にプラグや便利なセブタクル、装置から出る部分で、歩いたり挟まれたりしないように保護してください。
- 本製品のお手入れは、乾いた柔らかい布で行ってください。製品の表面を傷つける恐れがあるため、液体洗剤は絶対に使用しないでください。
- メーカー指定のカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルを使用すること。カートを使用する場合は、転倒によるけがを避けるため、カートと本機の組み合わせで移動するときは注意してください。
- 雷雨のときや長時間使用しないときは、本機の電源プラグを抜いてください。
- 直射日光の当たる場所や、紫外線（UV）を発生する器具の近くには置かないでください。
- 修理を依頼される場合には、販売店印とご購入日が明記された保証書が必ず必要です。電源コードやプラグが破損している、液体をこぼした、物を落下させた、雨や湿気にさらされた、正常に動作しない、落下させたなど、本機に何らかの損傷がある場合は、修理が必要です。
- **注意：**この取扱説明書は、有資格のサービス担当者のみが使用できるものです。感電の危険を避けるため、有資格者以外は取扱説明書に記載されている以外の整備を行わないでください。
- **警告：**製造元が指定または提供するアタッチメント / アクセサリ（専用電源アダプタ、バッテリーなど）のみを使用してください。
- すべての機器の電源をオン/オフする前に、すべての音量レベルを最小にしてください。
- スピーカーをスピーカー端子に接続する際は、スピーカーケーブルのみを使用してください。特にスピーカーを並列接続する場合は、アンプの定格負荷インピーダンスを必ず守ってください。アンプの定格範囲外の負荷インピーダンスを接続すると、機器を破損する恐れがあります。



本装置は業務用です。

**設置および試運転は、
資格のある担当者のみが行ってください。**

- 必ず適切な定格のリギング金具を使用してください。
- K-arrayは、K-arrayが製造していないリギング機器や付属品について責任を負いません。
- K-arrayラウドスピーカーとハードウェアは、承認されたリギングポイントからの吊り下げのみを目的としています。使用するラウドスピーカーと追加ハードウェアアセンブリの総重量が、サスペンションポイントの使用荷重制限（WLL）以下であることを確認してください。
- ラウドスピーカーシステムのリギングとフライングは、知識と経験のある専門家が行ってください。
- 重量のあるラウドスピーカーシステムの使用と吊り下げが、その時、その場所でも有効なすべての適用法令に準拠していることを確認するのは、使用者の責任です。
- ラウドスピーカー・スタックとそのサポート・システムの設置場所が、安全に必要な最小限のクリアランスを確保していることを確認してください。
- 意図しない衝撃、突風、振動などによる損傷や故障を避けるため、ラウドスピーカースタックとその支持システムを地面に固定するのはユーザーの責任です。
- K-arrayは、ラウドスピーカーの不適切な使用によって生じた損害について責任を負い兼ねます。
- 本製品を無断で改造された場合、弊社は一切の責任を負い兼ねます。

CEについて

K-arrayは、本装置が適用されるCE規格および規則に準拠していることを宣言します。本装置を動作させる前に、各国固有の規制を遵守してください！

商標について

すべての商標はそれぞれの所有者に帰属します。

目次

開梱	6
K-FOOT3 組み立て	6
K-JOINT3 組み立て	6
K-FLY3 組み立て	8
K-PMOUNT 組み立て	8
K-WALL2 組み立て	9
K-WALL2L 組み立て	10
K-KBASEFL K-KJUNCT1 組み立て	12
K-KBASEFT 組み立て	14
K-KBASETK 組み立て	15
K-KBASE3 組み立て	16
K-KBASE3 Thunder-KS4 I / KS4PI	16
機械図面	18
K-FOOT3	18
K-FLY3	18
K-PMOUNT	19
K-KBASEFL	20
K-KBASEFT	20
K-KBASETK	21
K-KJUNCT1	21
K-KBASE3	22

このたびは、K-array製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます！

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書および安全上のご注意をよくお読みください。この取扱説明書をお読みになった後は、必ず大切に保管してください。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

このユーザーガイドに従って、アクセサリをコラムラウドスピーカーに組み付けてください。

以下のアクセサリは、Kobra-KK、Python-KP、Kayman-KYラインアレイラウドスピーカーに適合します：

- K-FOOT3
- K-JOINT3
- K-FLY3
- K-WALL2
- K-WALL2L
- K-PMOUNT
- K-KBASE3

以下のアクセサリはKobra-KK102ラインアレイラウドスピーカー専用です：

- K-KBASEFL
- K-KBASEFT
- K-KBASETK
- K-KJUNCT1

Accessories For Column Speakers

User Guide

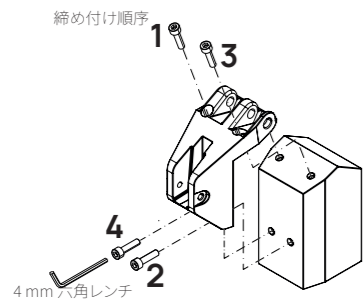
開梱

各 K-array 製品は最高水準で製造され、工場を出荷する前に徹底的に検査されます。

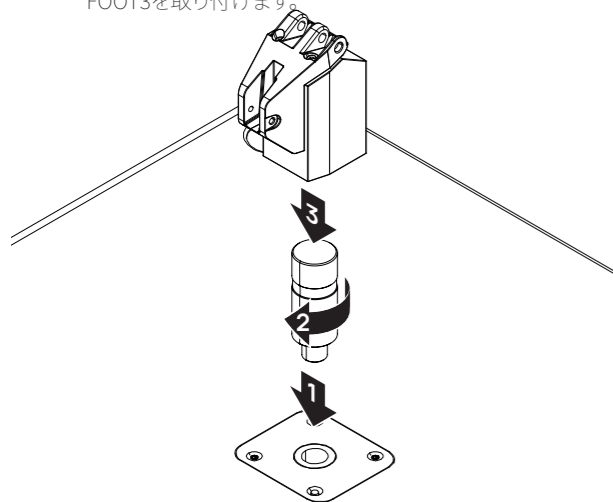
到着後、輸送箱を注意深く点検し、新しいデバイスを調べ、テストしてください。損傷が見つかった場合は、直ちに運送会社にご連絡ください。

K-FOOT3 組み立て

A K-FOOT3の上にヒンジを組み立てる。

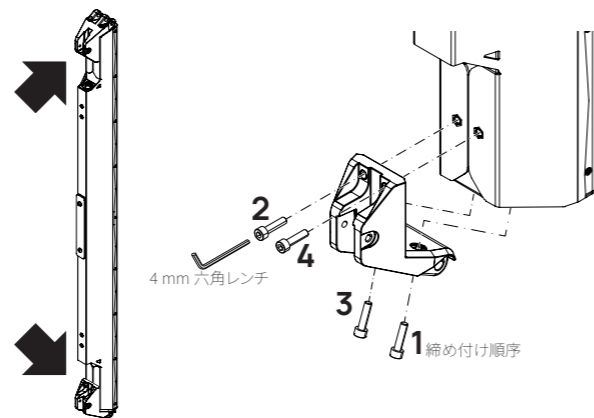


B スチールピボットをM20の穴にしっかりとねじ込み、K-FOOT3を取り付けます。

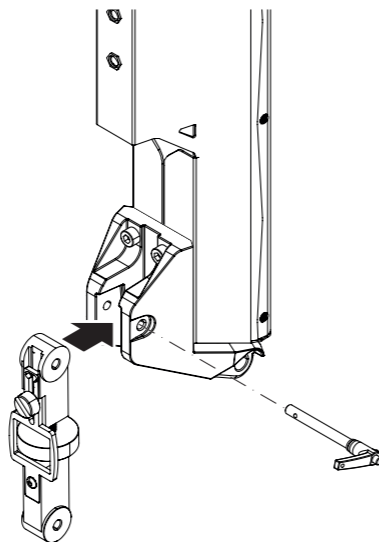


K-JOINT3 組み立て

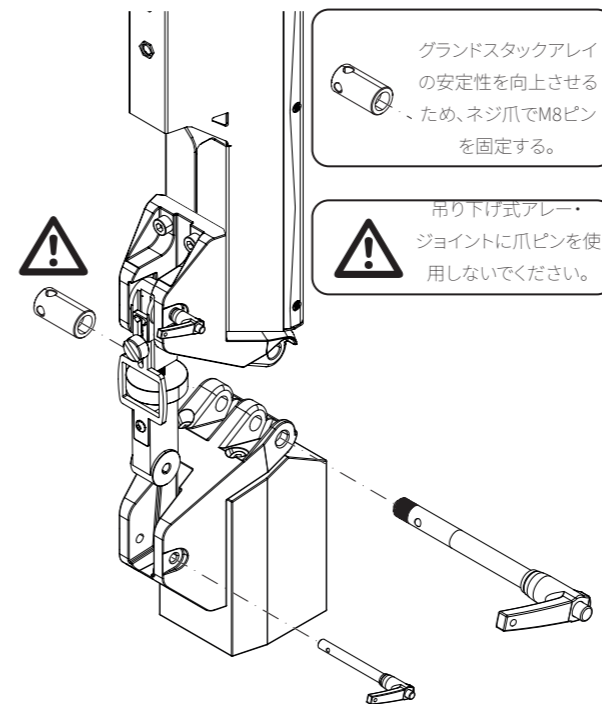
1 コラムスピーカーの両端にヒンジを取り付けます。



2 傾斜定規をコラムスピーカーの下部にあるヒンジに接続します。

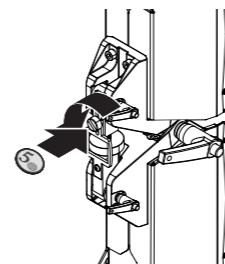


3 スピーカをK-F00T3のヒンジに立てかけ(またはコラムスピーカーの上部のヒンジに立てかけ)、ピンを差し込んでアセンブリをブロックします。

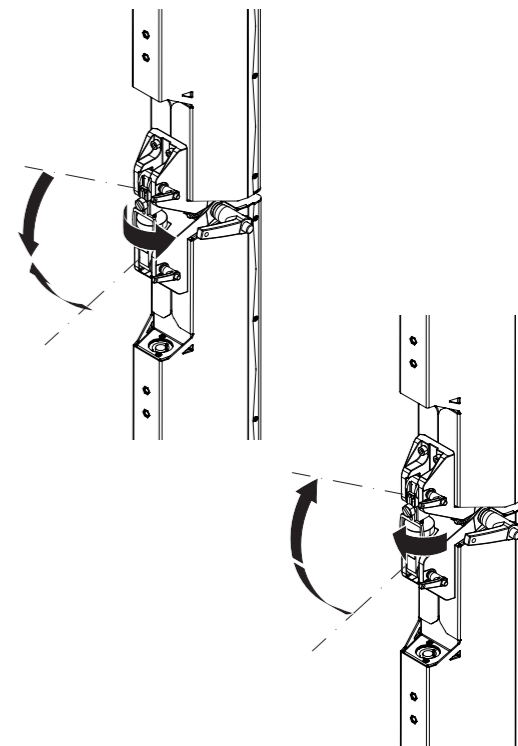


4a ラウドスピーカーの傾斜角度を調整し、システムの指向性をコントロールします:

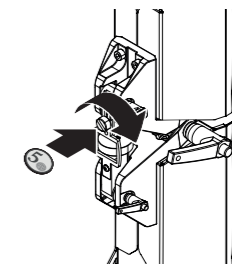
A. ロックスクリューを緩める;



4b B. ホイールを回してジョイントの角度を変え、ラウドスピーカーを傾けます;



4c C. ロックスクリューを締める

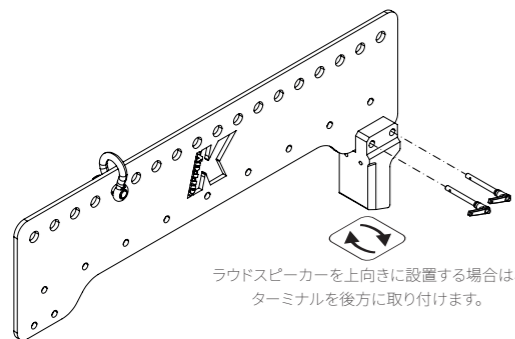


Accessories For Column Speakers

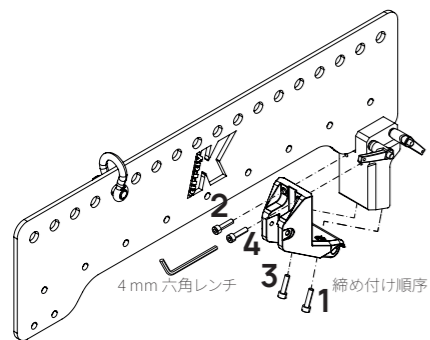
User Guide

K-FLY3 組み立て

A K-FLY3端子をフライバーに取り付けます。

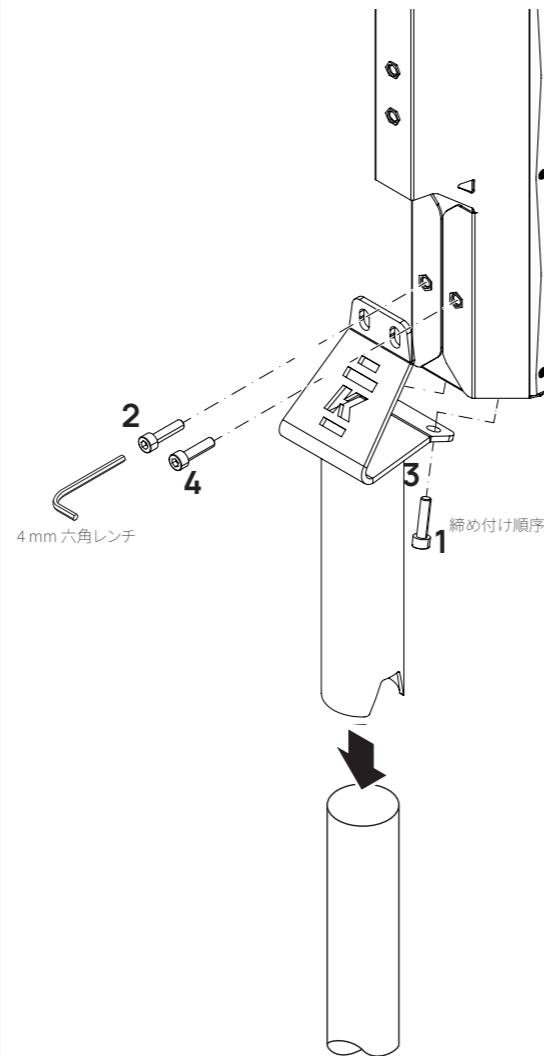


B ヒンジをフライバーの端子に組み付けます。



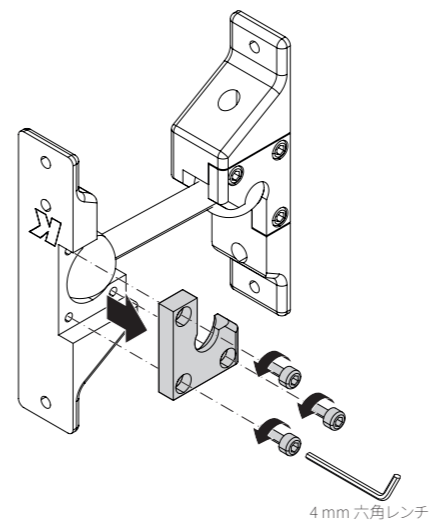
K-PMOUNT 組み立て

1 K-PMOUNTをコラムスピーカーに取り付けます。

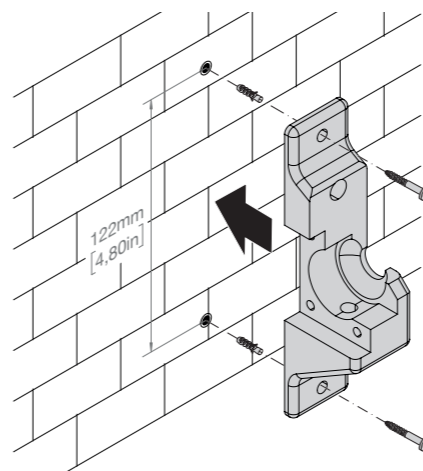


K-WALL2 組み立て

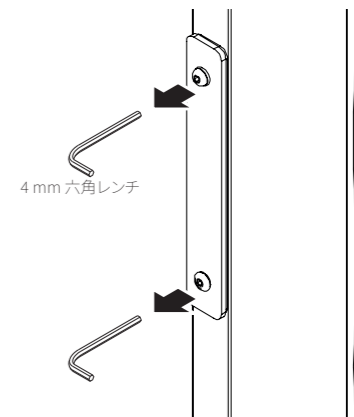
A K-WALL2を分解し、表面に固定するブラケットの横板を取り外します。



B 表面に122 mm間隔で2つの穴を開け、ブラケットを取り付けます。

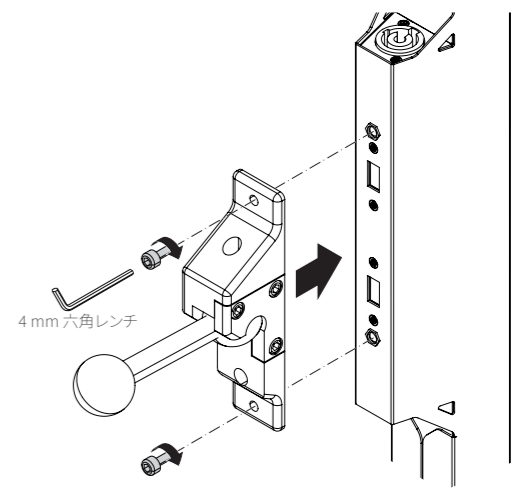


C ラウドスピーカーのバックプレートのネジを外します。オプションでプレートを固定することもできます。



! 次のステップの前に、ラウドスピーカーのインビードダンスとSPOT / FLOODの指向性パターンをチェックし、設定してください。

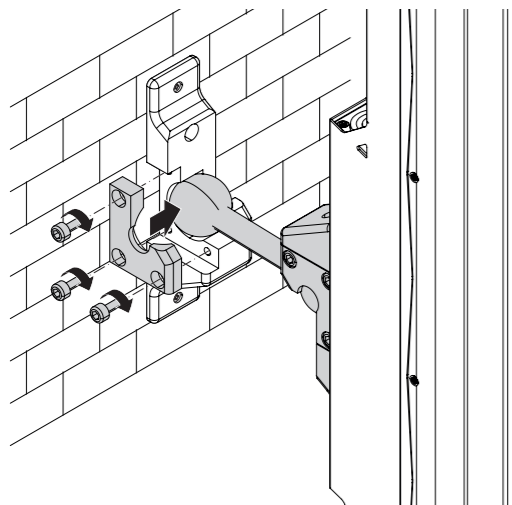
D ブラケットをスピーカーに取り付けます。



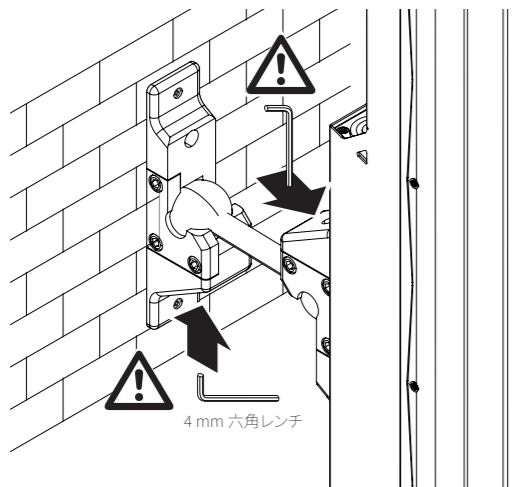
Accessories For Column Speakers

User Guide

- E** ブラケットの2つのパーツを合わせ、壁に取り付けた方の横板を組み立てて固定します。

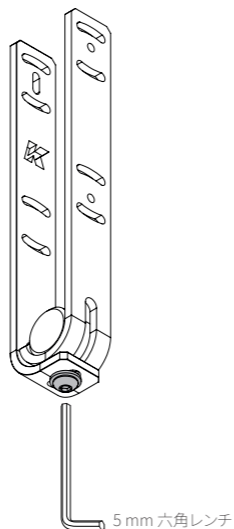


- F** リスニング・ポジションに適切な位置が決まったら、ラウドスピーカー側と壁側の両方でブラケットを固定するネジを締めます。

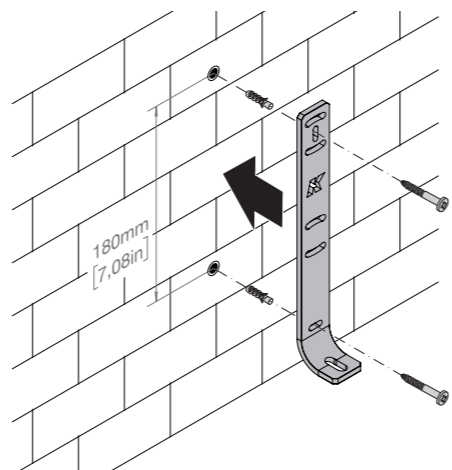


K-WALL2L 組み立て

- 1** K-WALL2Lを分解し、表面に固定するブラケットの底部のネジを外します。



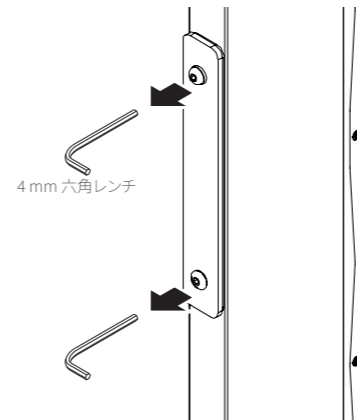
- 2** 表面に180mm間隔で2つの穴を開け、K字型の穴を持つブラケットを取り付けます。



Accessories For Column Speakers

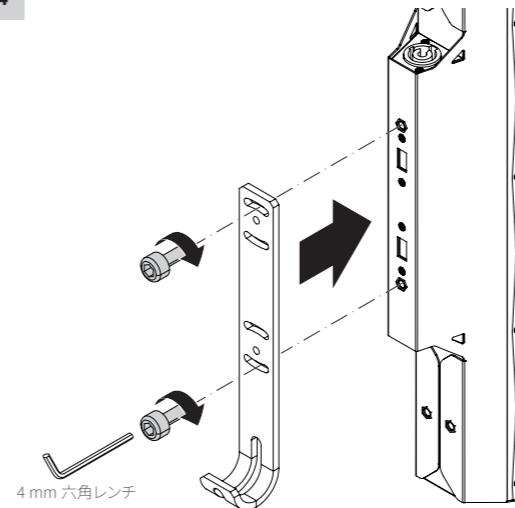
User Guide

- 3** ラウドスピーカーのバックプレートのネジを外します。オプションでプレートを固定することもできます。

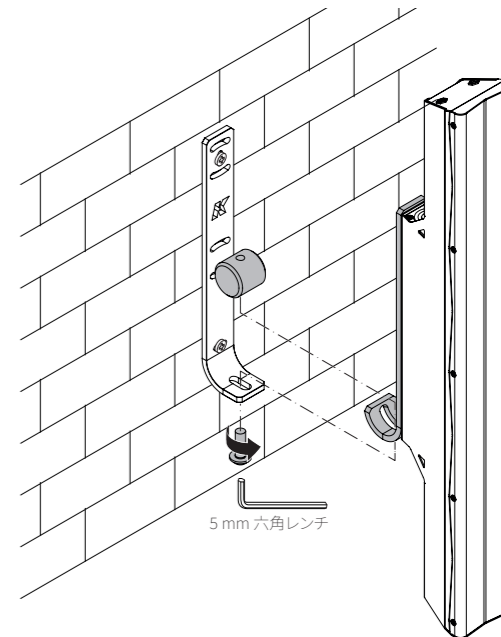


! 次のステップの前に、ラウドスピーカーのインピーダンスとSPOT / FLOODの指向性パターンをチェックし、設定してください。

- 4** ブラケットをスピーカーに取り付けます。



- 5** ブラケットの2つのパーツを合わせて固定します。

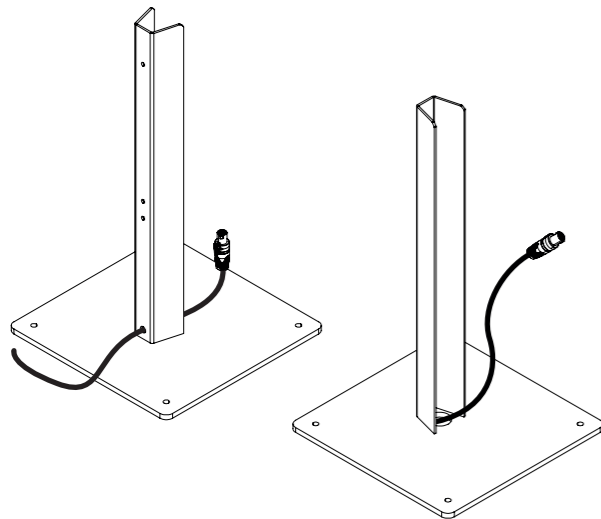


Accessories For Column Speakers

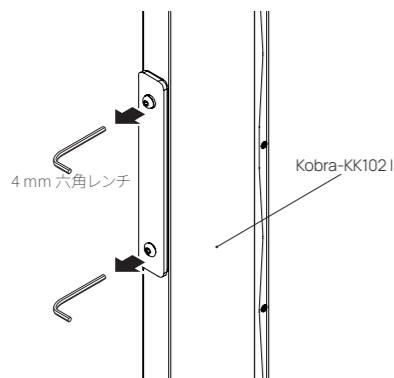
User Guide

K-KBASEFL|K-KJUNCT1組み立て

- 1 スピーカークーブルは、背面の穴またはプレート底面の穴のいずれかを使って通します。



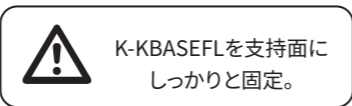
- 2 ラウドスピーカー背面の六角ネジを外します。



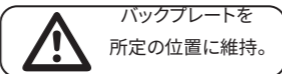
次のステップの前に、ラウドスピーカーのインピーダンスとSPOT / FLOODの指向性パターンをチェックし、設定してください。



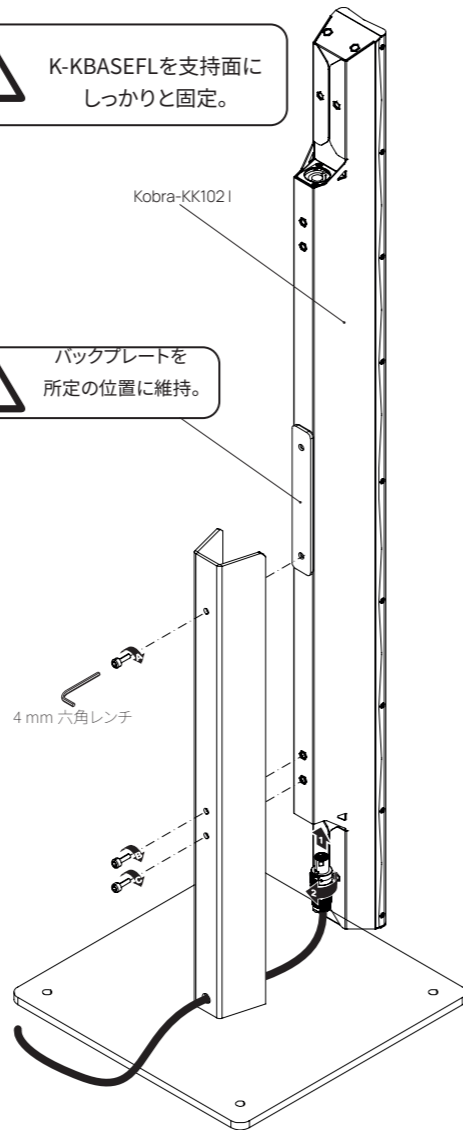
- 3 スピーカーのプラグをK-BASEFLに固定します。



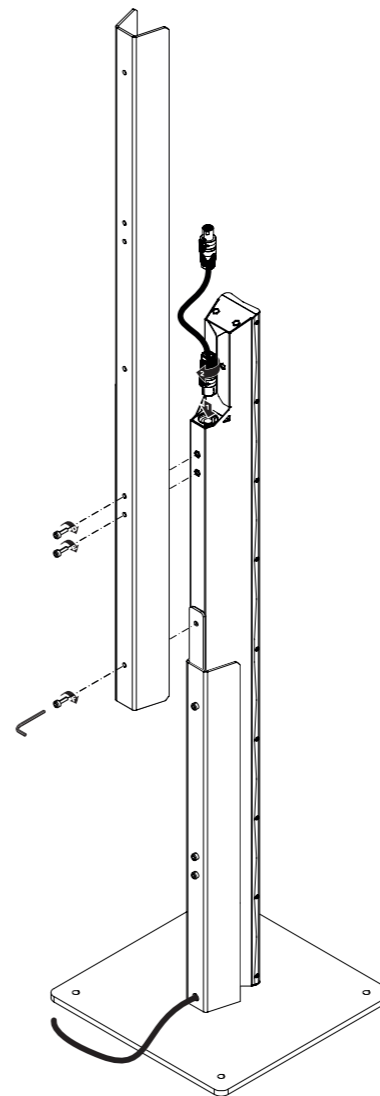
K-KBASEFLを支持面にしっかりと固定。



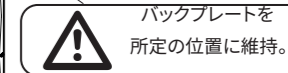
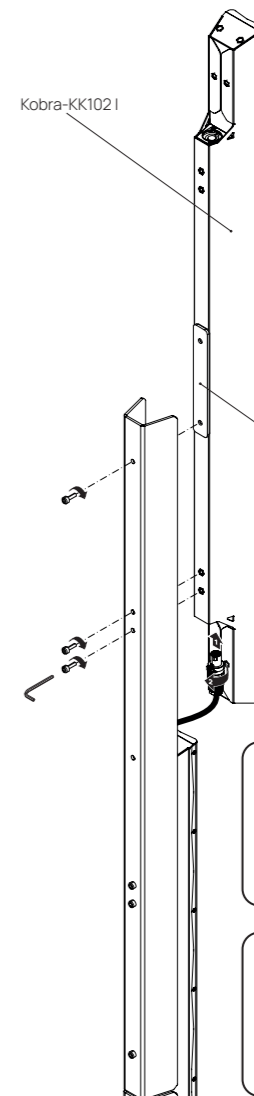
バックプレートを所定の位置に維持。



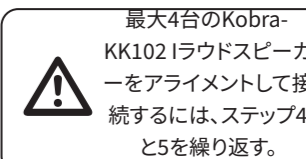
- 4 スピーカージャンパーケーブルをKobra-KK1021ラウドスピーカーの上部SpeakONコネクターに差し込み、K-KJUNCT1をラウドスピーカーに組み付けてください。



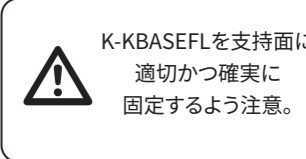
- 5 一番上のラウドスピーカーをジャンパーケーブルに接続し、ラウドスピーカーをK-KJUNCT1シールドに取り付けます。



バックプレートを所定の位置に維持。

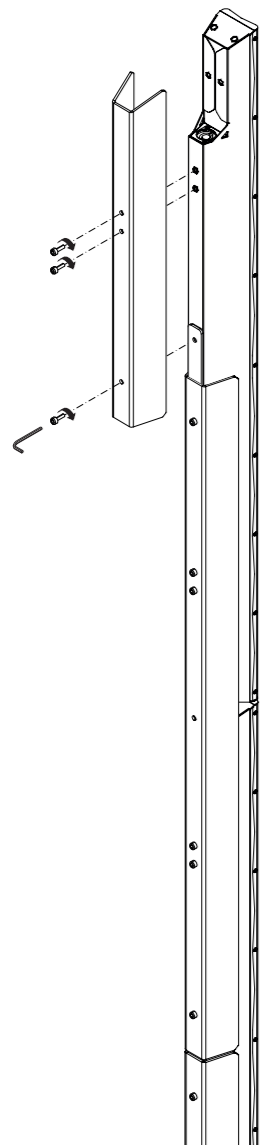


最大4台のKobra-KK1021ラウドスピーカーをアライメントして接続するには、ステップ4と5を繰り返す。



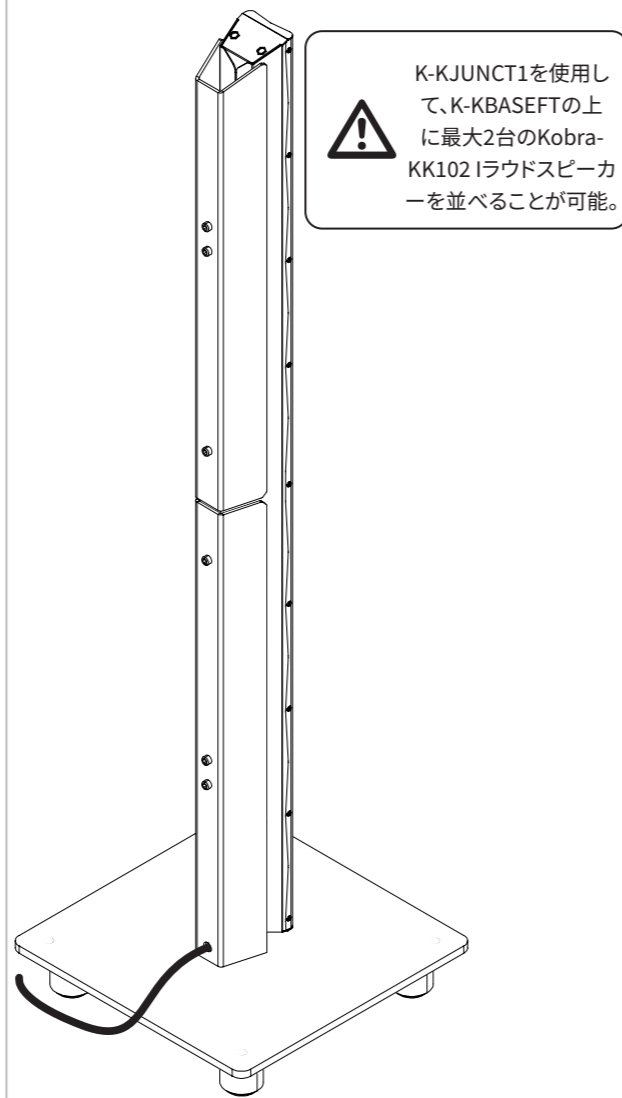
K-KBASEFLを支持面に適切かつ確実に固定するよう注意。

6 トップシールドをコラムスピーカーに組み付けます。



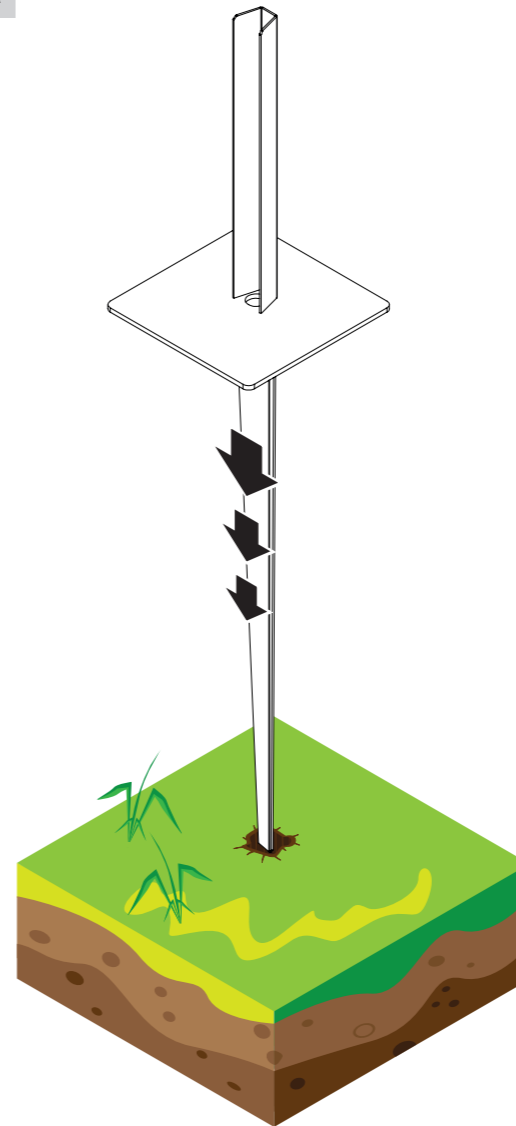
K-KBASEFT 組み立て

K-KBASEFLの組み立てと同じ手順で行ってください。

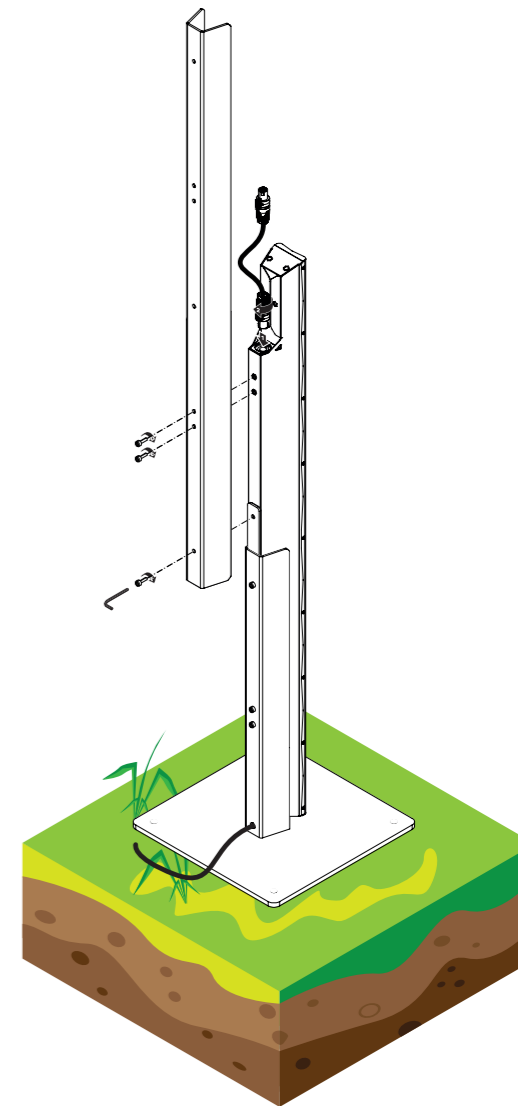


K-KBASETK 組み立て

A 地面に穴を掘り、K-KBASETKを押し込みます。



B K-KBASEFLの組み立てと同じ手順で行ってください。



Accessories For Column Speakers

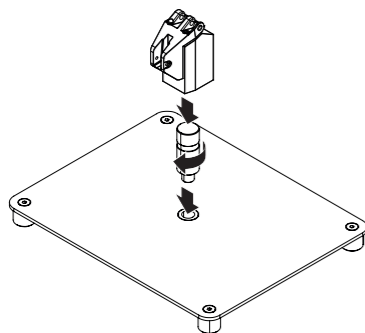
User Guide

K-KBASE3 組み立て

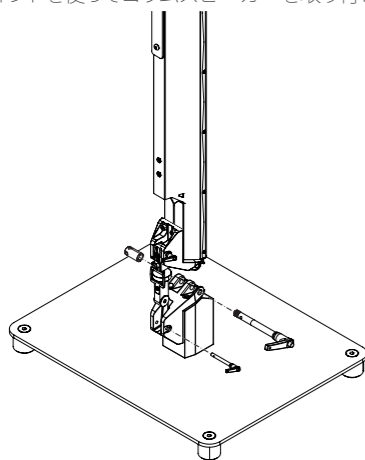
K-KBASE3は、コラムスピーカーを自立させるために設計されています。Kobra-KK、Python-KP、Kayman-KYラインアレイスピーカーに対応します。

さらに、K-KBASE3を使用すると、Thunder-KS4 I / KS4P Iの上にコラムスピーカーを垂直に設置することができます。

- 1 K-KBASE3の上にK-FOOT3を取り付けます。

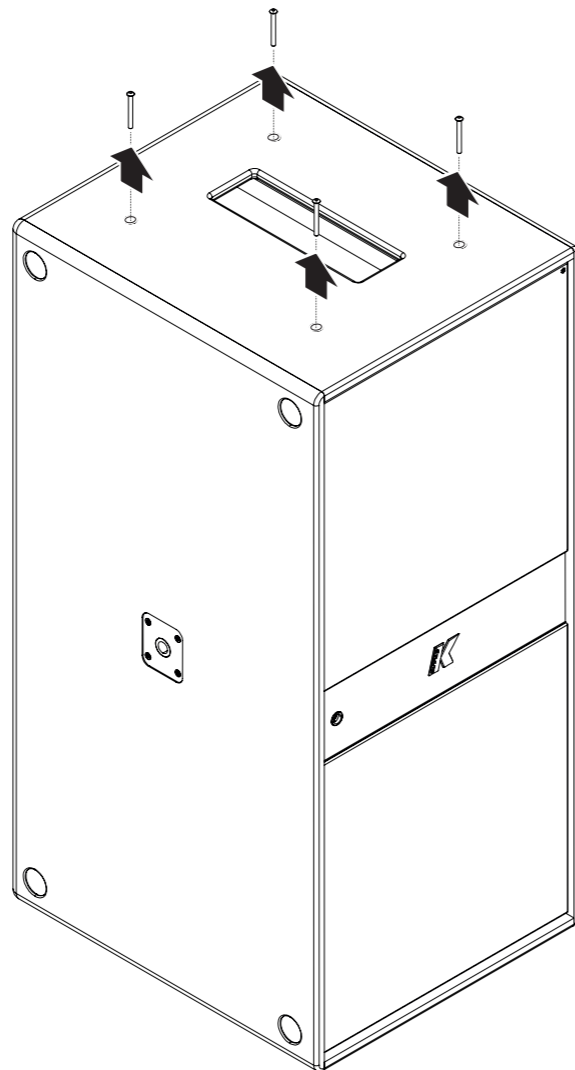


- 2 ジョイントを使ってコラムスピーカーを取り付けます。

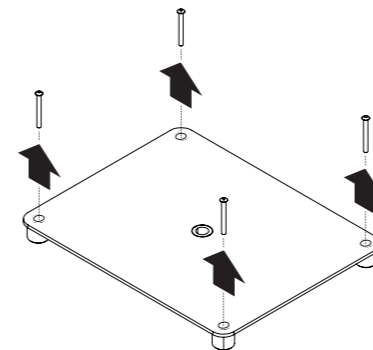


K-KBASE3 | Thunder-KS4 I / KS4P I

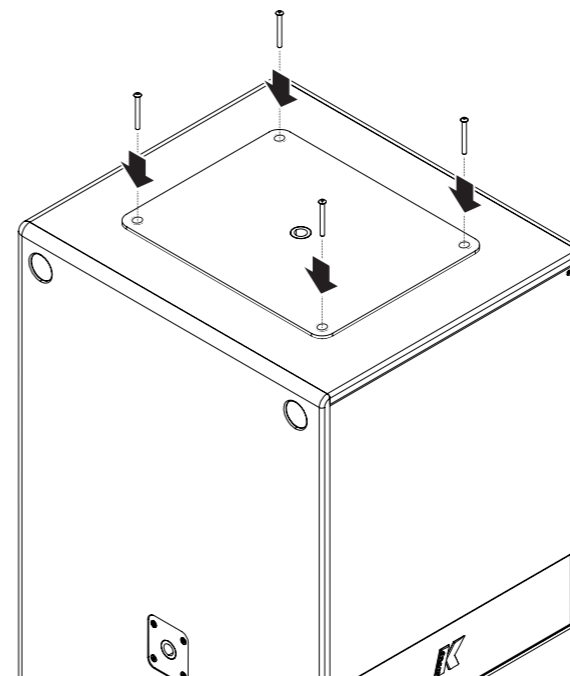
- A Thunder-KS4 I / KS4P Iを垂直にセットし、上側から4本のM8ネジを外します。



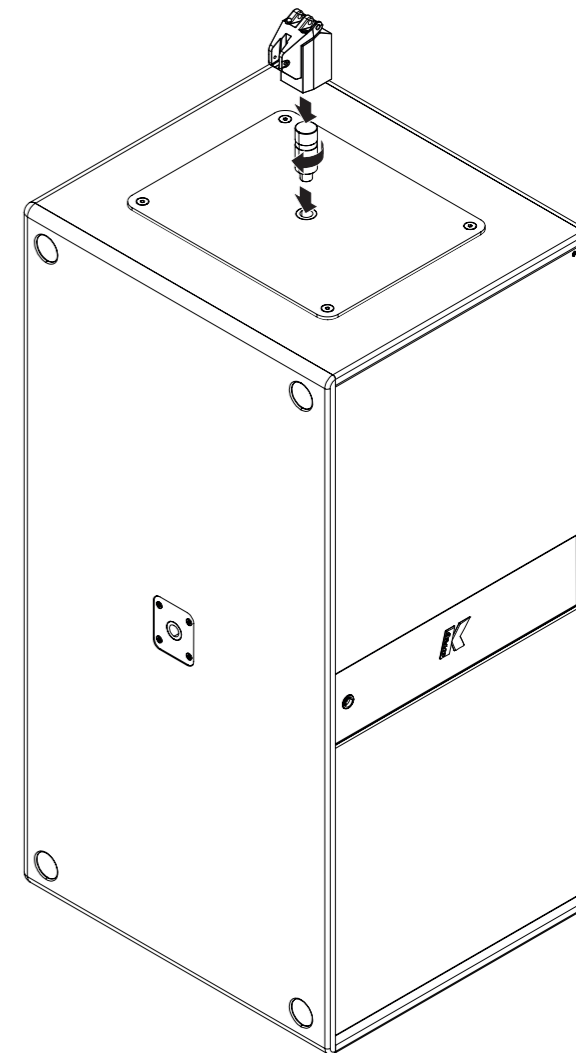
- B K-KBASE3から4つのゴム足を取り外します。



- C K-KBASE3をサブウーファー上部にM8ネジ4本で固定します。



- D K-KBASE3の上にK-FOOTを組み立てます。



Accessories For Column Speakers

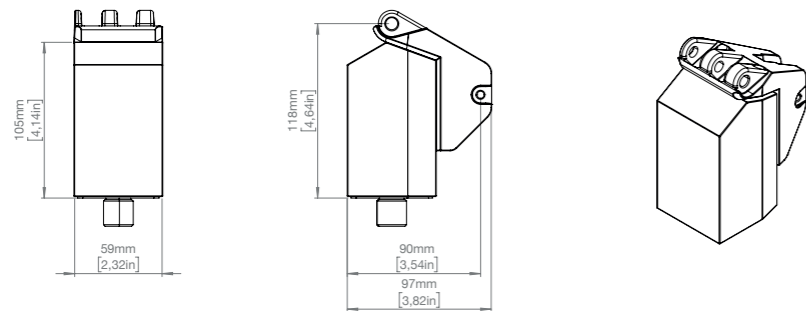
User Guide

Accessories For Column Speakers

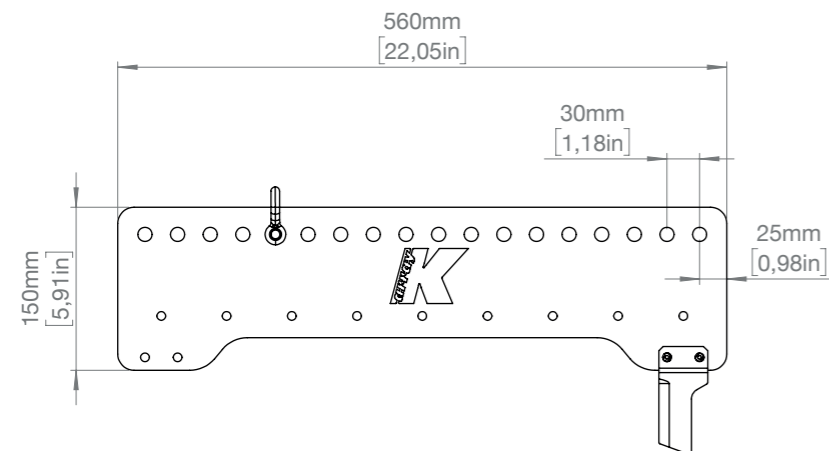
User Guide

機械図面

K-FOOT3



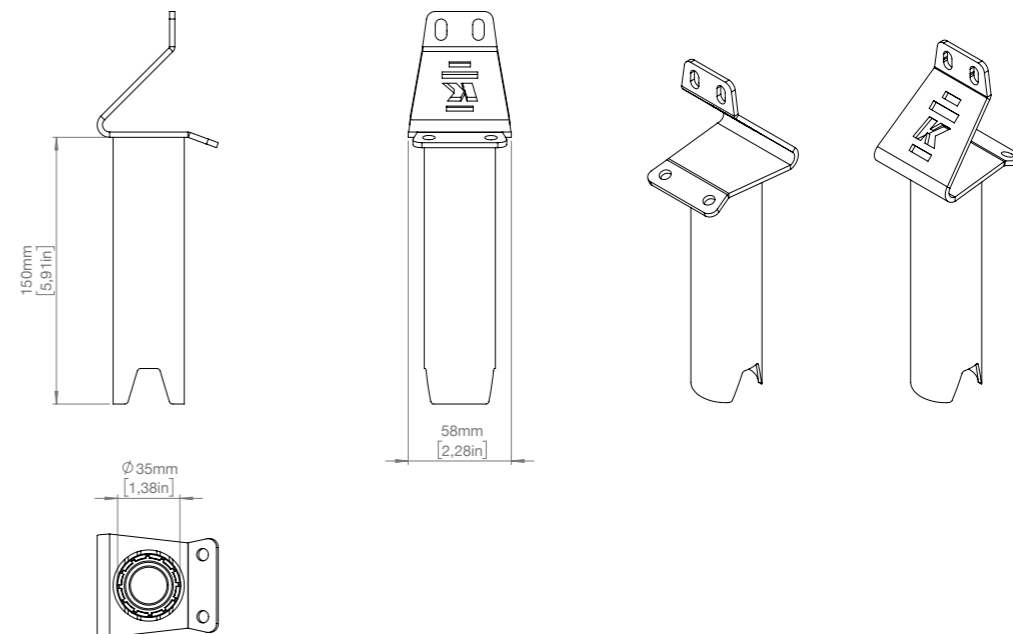
K-FLY3



Accessories For Column Speakers

User Guide

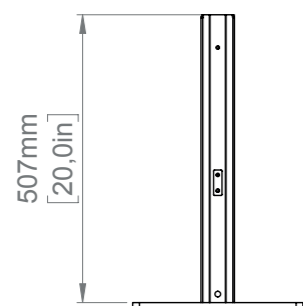
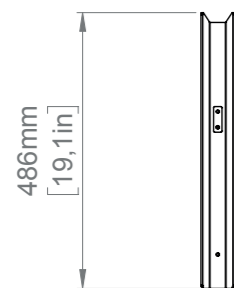
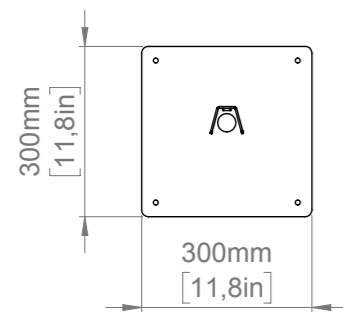
K-PMOUNT



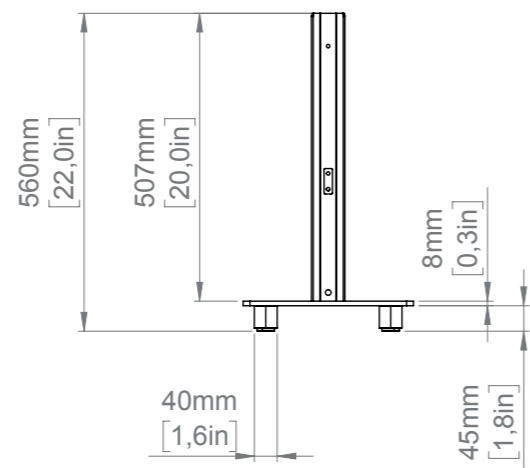
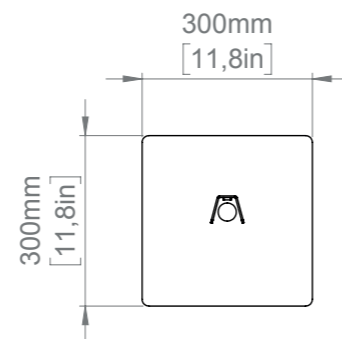
Accessories For Column Speakers

User Guide

K-KBASEFL



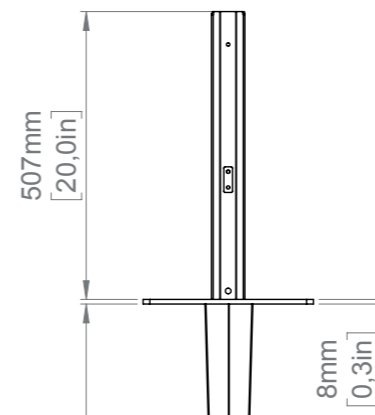
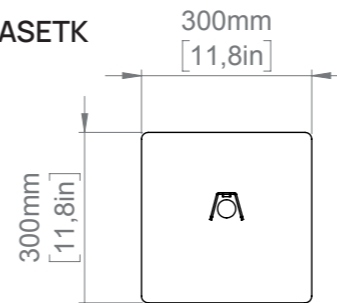
K-KBASEFT



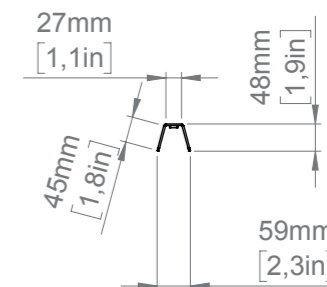
Accessories For Column Speakers

User Guide

K-KBASETK



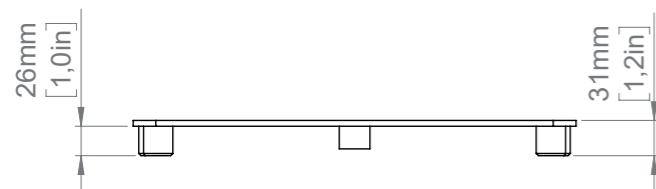
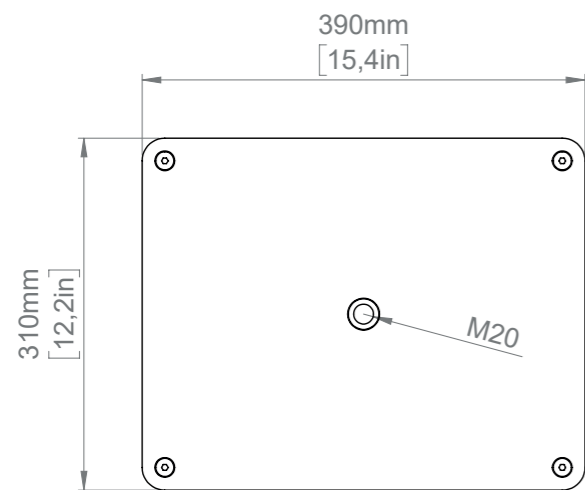
K-KJUNCT1



Accessories For Column Speakers

User Guide

K-KBASE3





K-array輸入販売代理店:株式会社オーディオブレインズ
〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎649-3 TEL:044-888-6761
<https://audiobrains.com/>

Designed and Made in Italy

K-ARRAY surl
Via P. Romagnoli 17 | 50038 Scarperia e San Piero - Firenze - Italy
ph +39 055 84 87 222 | info@k-array.com

www.k-array.com